

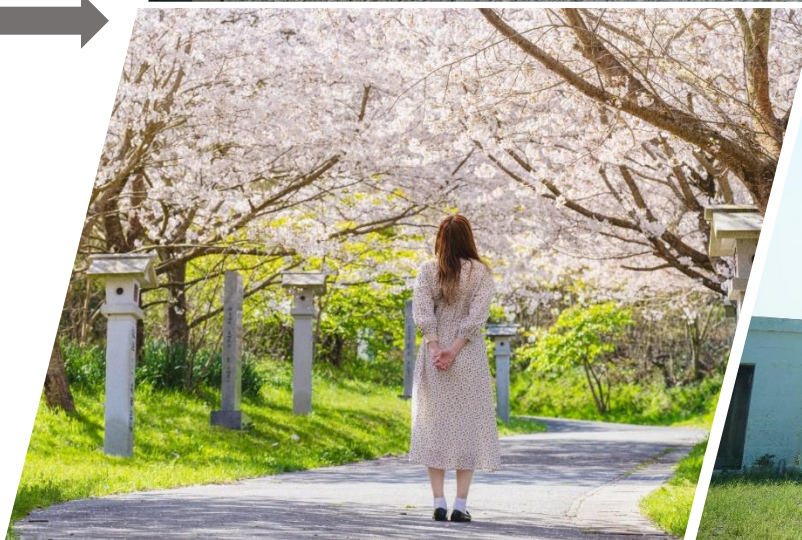
企業と地方公共団体との マッチング会

日時：2025年11月26日（水）

Zoom開催



坂 出 市
Sakaide City



1. 坂出市の地勢

位置

人口：47,484人
男性：22,905人
女性：24,579人
世帯：21,051世帯
※令和7年6月1日現在

面積：92.49km²
(東西：約14.65km)
(南北：約18.20km)

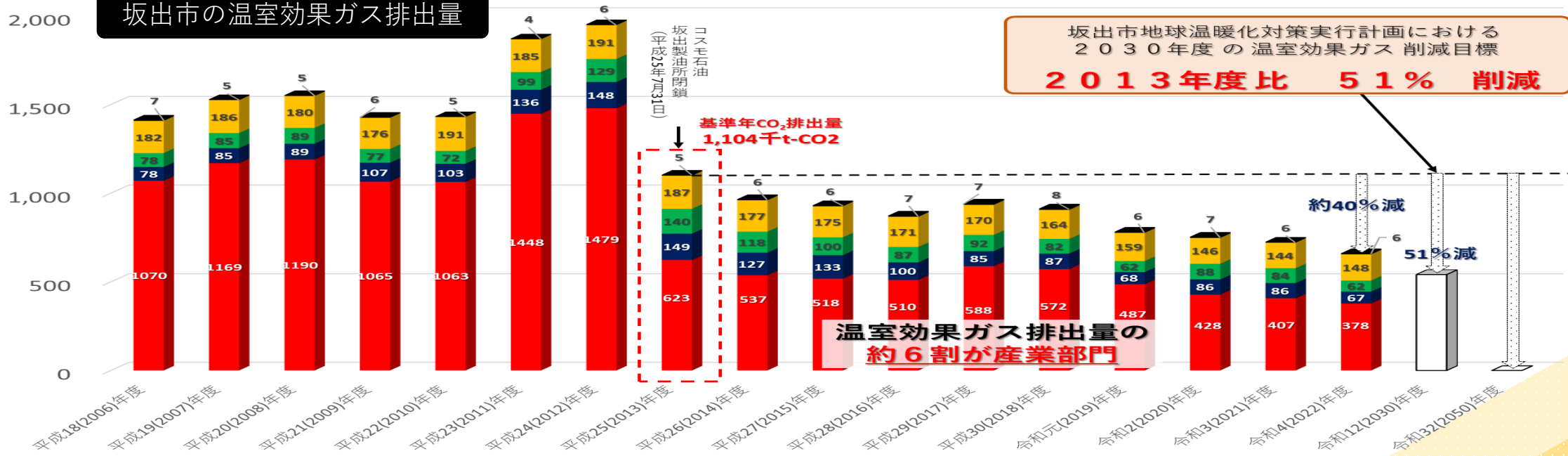
地理的環境



- ・坂出港：重要港湾（港湾管理者：坂出市）
- ・番の州臨海工業団地：臨海部の大規模工業用地
- ・交通：坂出北ICフル化予定、さぬき浜街道4車線化予定（一部供用開始）



坂出市の温室効果ガス排出量



2. 現状の課題と目的

市民の意識向上に向けて

- 坂出市においては、「ゼロカーボンシティ」宣言を掲げ、2050年までに二酸化炭素排出量の実質ゼロをめざし、これまで環境保全と環境教育の両面でさまざまな取り組みを進めてきた。
- こうした施策をより大きなムーブメントとして活性化するためには、市民・事業者の環境への理解・知識を深めるとともに、これまでの施策や取組を広く啓発し、環境意識を向上させることが大切。
- 特に、次世代を担う子どもたちへの教育においては、身近なことから自然環境の大切さを学び、自ら行動する力を育むことが求められる。



「環境」を楽しく学び、行動に移す有効手段として

- こうした要件を進める有効手段として、今回、AIエージェントの導入を検討。
- 遠大なテーマになりがちな環境問題。親しみやすいキャラクターとの対話を通して触れることで身近なものに感じられ、「自分ごと」として意識を高めていくことができる。「ゼロカーボンシティ実現」への使命を持たせたAIエージェントは自律的に啓蒙活動を進め、坂出市の施策への理解と参加を呼びかけていく。

Zero Carbon city Sakaide

坂出市では、2050年のカーボンニュートラルに向け、ゼロカーボンシティの実現を宣言し、さまざまな施策を進めています。

坂出市宅配ボックス普及促進事業補助金
「宅配ボックス」を購入された市民のかたに、本体購入価格の2分の1に相当する額で限度額5,000円を支給

坂出市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）の策定
市域における温室効果ガスの排出量削減等を推進するための総合計画となる坂出市地球温暖化対策実行計画を策定。

市公共施設等への電動自動車充電設備の導入検討
およそ50基を目標に、市内公共施設を中心として普通充電設備の設置を進めます。

坂出市LED道路照明灯導入事業
市内道路照明灯1,401灯（既にLED化している灯201灯を含む）を一斉にLED化。令和5年度以降は公園や公共施設も順次LED化を進めます。

港湾脱炭素化推進計画の策定
カーボンニュートラルを念頭に置いた坂出港の港湾・産業立地競争力強化に向けた形成計画の策定。

「観光」と「脱炭素」を結び付けた取り組み
走行時に二酸化炭素を排出しない電動バイクのレンタル事業を開始

ウォータースタンド社とのゼロカーボンシティに向けたプラスチックごみ削減の推進に関する協定
ペットボトル等のプラスチック製品の削減に向け、マイボトル用屋内型給水機を事業者と連携し、市内公共施設へ設置。今後は教育委員会と連携し市内小中学校への設置も検討

再生可能エネルギー100%電力の導入
坂出市本庁舎と教育会館へ再生可能エネルギー100%電力を導入

屋外用常設型給水機の設置
鎌田池公園および市民ホール前に、冷水機能およびバリアフリー設計による車椅子対応を兼ね備えつつ、材質素材のトイコヤを使用し、デザイン性と耐久性の高い屋外用常設型マイボトル給水機を設置

アートを活かしたゼロカーボンの推進
坂出市、（一社）坂出市観光協会、（株）yAmA（山口一郎氏代表）が連携し、アートを取り入れながら地域の目録で新しい価値を共に創りあげることで、カーボンニュートラルに向けた地域全体の行動変容を促すことをめざす

【問合せ先】
坂出市 政策部 政策課
坂出市室町二丁目3番5号
TEL:0877-44-5001
FAX:0877-44-5032

AIエージェントとは

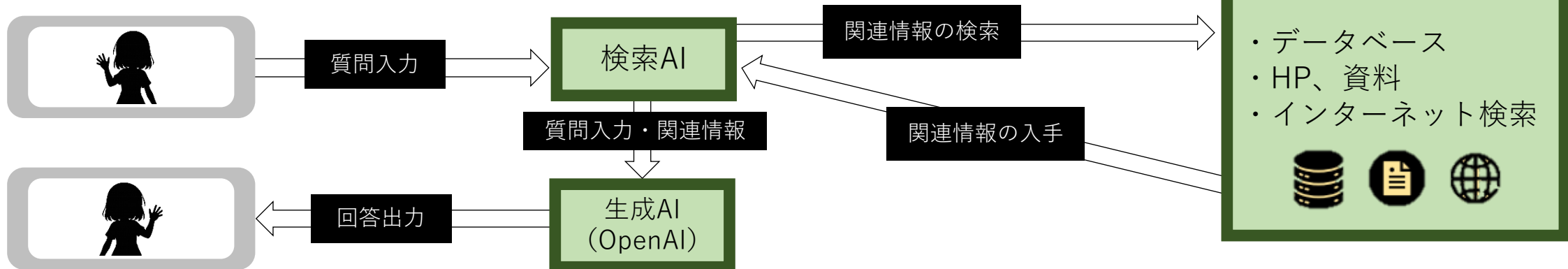
人間のように自律的に目標を設定し、状況を判断しながら行動する能力を持つAIシステム。単にプログラムされたタスクをこなすだけでなく、新しい状況にも適応しながら、より複雑な問題解決や意思決定を行うことができます。

①一般的なインターネット上の環境情報

基盤となるのは、インターネット上の一般的な環境情報。
ゴミの分別方法から生物多様性の重要性、地球温暖化の基本的なメカニズムまで広範な知識。
また再生可能エネルギーの最新動向や、世界各国のユニークな環境保護活動の事例など世界的な環境トレンドも常にアップデート。

②自治体独自の情報

自治体で管理されている独自のデータを学習。
例えば、ごみ収集の曜日や分別ルール、リサイクル施設の場所、地域住民向けの環境イベント情報など住民に役立つ情報を学習させることで、坂出市オリジナルのエージェントを育てていく。
全市をあげて省エネ・再エネを推進する「坂出市地球温暖化対策実行計画」や「CNに向けた取組」などをインプットすることで、坂出市の方針に基づいた啓蒙活動を進めていく。





教育現場での環境教育

対話を通じて思考を深める 「探究学習」を実施

AIエージェントが子どもたちに「問い」を投げかけ、その問いを出発点として、一人ひとりが自身の答えを出し、それに対してAIエージェントがまた問いかけ子どもの思考を深める。
子供の興味を広げたり、深めたりしながら環境保全につながる小さなチャレンジ行動を呼びかける。

⇒ 「覚える学習」から「考える学習」へ

公共施設やイベント会場での環境意識の啓発

環境や食のイベント、市民講座会場、資料館などにエージェントを設置

「環境」「食」「坂出市の自然環境」など、さまざまなテーマのイベント会場に、デジタルサイネージのAIエージェントを設置。
主婦層、高齢者、ファミリー層など、幅広い一般市民にAIエージェントとの触れ合い体験をしてもらい、環境への取組み全体のアイコン（環境大使、エコ先生）としての定着も。



フェーズ1

意識づくり

- 住むところがある、海がある、自然があることの大切さを知ってもらう
- 市が考えている未来を伝え、「自分にもできることがある」という意識を持ってもらう
- 学校、公共施設、市民講座などで、日常的にエージェントと楽しく学んでいく環境をつくる

フェーズ2

アイデアづくり

- 「ゴミ拾いコンテスト」や「プラスチック・アートコンテスト」など楽しい事例、海外事例を紹介して視野を広げる
- 子どもたちを含め市民からアイデアがたくさん出るような仕掛けと連携

フェーズ3

アイデアづくり

- 自分たちのアイデアで、小さなことでもどんどんやってみてSNSやHPで発信を続ける。
- 「環境ハッカソン」、「姉妹都市交流」などで積極的に話題づくり
- 「坂出」から新しい環境活動が広がっていくムーブメントをつくり、市民一人ひとりが「いい街ですよ」「こんな環境活動をしています」と主体的に行動し発信する『シティプライド』を育んでいく。



企業版ふるさと納税による 公民連携



社会・地域貢献

全国的な課題としての地球温暖化対策を自治体（行政）と進めることにより、CSRおよび自社ブランド力の向上につながり、社内エンゲージメント向上にも大きな影響を与えることができる。

- ・県内にも率先した温暖化対策事業の推進

多様な主体との新たな関係の構築

本市との強固な関係を構築することにより、市内約2,700事業所等へのPRができ、新たな販路開拓等と次世代に向けたイメージ向上につながる。

- ・寄付企業としてのPR
- ・環境イベント等での紹介

新事業展開

地域から生の声を聴けるため、自社事業に関連する新しいニーズや市場の発見につながる。

- ・本市とのパートナーシップ構築による情報の共有
- ・地域との交流機会の創出



ZERO CARBON CITY
SAKAIDE

<https://www.city.sakaide.lg.jp/site/zero-carbon-city-sakaide/>



坂出市 政策部 政策課
課長補佐 松浦 慎一

TEL : 0877-44-5001
E-mail : seisaku@city.sakaide.lg.jp

